

I. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

世界史を考えるうえで、各地域の歴史的特質の理解は欠かせない。この特質はまず各地の自然条件、とくに最後の氷期が終わった約 (1) (2) 万年前からの温暖化という気候変動のなかで形成されてきた。現生人類は、この変動にあわせ、食糧の獲得や保存に関わる技術の高度化や多様化を進めた。打製石器に加えて、(あ) 製石器の普及はそのひとつである。また、野生の動植物の家畜や栽培種への転換がおこり、獲得経済から生産経済へと移行した地域もある。

家畜化の例には、西アジアではウシや (3) (4) , 南アジアではコブウシ、中央ユーラシアではウマ、アンデスでは (5) (6) などがある。栽培化の例としては、西アジアのムギ、北中米メソアメリカ地域の (7) (8) , 西アフリカのトウジンビエ、ニューギニア島のサトウキビなどがある。

このプロセスの中で、やがて歴史的特質が現れる。例として南アジアを考えよう。この地域は北が急峻な山脈、南が海洋に囲まれ、他の地域から独立している。降雨が少ない西北部の (9) (10) 川流域では、前3千年紀からモエンジョ＝ダールのような (11) (12) 造り中心の計画都市が形成された。穀物類の栽培やコブウシなどの飼育がなされ、^(a)カレーの原型のような料理や綿布も作られた。また、図像や未解読の文字を刻んだ (13) (14) が使われたが、強力な王権は生まれなかったとされる。

前2千年紀に西北部の諸都市が衰退した後、(15) (16) 系の人びとが中央ユーラシアから移住し、東へ流れる (17) (18) 川流域にも進出した。同流域は、(19) (20) の影響で雨が多い季節があり、森が深い。彼らは牧畜が生業の中心であったが、鉄器による開墾を進め、稲などを栽培する農耕社会を築いていった。また、先住民の征服が進むなかで、ヴァルナと呼ばれる身分観が生まれ、祭式を取り仕切る (21) (22) の権威が高まった。さらに、(23) (24) 国などの城壁で囲まれた都市国家が形成され、交易が盛んになる頃には、ヴァルナに否定的な仏教などの信仰も生まれた。

インド亜大陸中央の (25) (26) 高原は、半乾燥の気候のためヒエやマメ類、綿などが主として栽培され、鉄などの鉱物資源にも富む。前4世紀に登場した (27) (28) 朝は、^(b)アショーカ王の時代までに、この高原や西北部に進出し、インドの大部分を征服する統一王朝を形成した。同王朝が衰退する頃から、この高原では (29) (30) 朝が勢力を広げ、北インドとの文化交流を進めた。

このように、自然条件が異なる諸地方を束ねることで、地域の歴史的特質が形成される傾向は、中央ユーラシアでも観察できる。同地域では、東の (31) (32) 高原から西の黒海北岸まで草原が連なる。ここでの主な生業は遊牧で、前1千年紀に騎乗が普及すると、長距離移動や軍事に長けた騎馬遊牧民が登場した。この草原地帯から (33) (34) 山脈を越えた南側のタリム盆地には砂漠が広がり、そこに点在する (35) (36) では農業が営まれ、手工業や (37) (38) 交易の拠点となる都市が形成された。強力な遊牧国家は、騎馬遊牧民がこれらの都市を統治下に置くことで成立する場合が多い。

各地域の歴史的特質の形成には、他地域の影響も寄与している。中央ユーラシアでサマルカンドなどを拠点とする (39) (40) 人は西方へ絹織物などをもたらすとともに、西方の^(c)宗教や文字などを東方に伝えた。また、周辺の民族と交流するなかで、唐代に節度使だった (41) (42) のように中国で活動する人物も輩出した。いっぽう、中央ユーラシアのトルコ系騎馬遊牧民は、西アジアで^(d)マムルークとして重用されるだけでなく、11世紀には (43) (44) 朝を建てバグダードに入るなど、同地域で影響力を強めた。東南アジアでは海上交易の発達で南アジアとの交流が活発になり、^(e)仏教やヒンドゥー教

の導入などのインド化がおきた。このように、諸地域の歴史的特質の形成には、地域内の条件と地域間関係の双方が関わっている。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (43) (44) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (1) ～ (44) にマークしなさい。

- | | | | |
|--------------|-----------|-------------|-------------|
| 11 1 | 12 5 | 13 10 | 14 アーリヤ |
| 15 アナトリア | 16 アム | 17 安祿山 | 18 印章 |
| 19 インダス | 20 エンポリウム | 21 オアシス | 22 王安石 |
| 23 オリーブ | 24 カイコ | 25 ガズナ | 26 ガラス |
| 27 ガンジス | 28 クシャトリヤ | 29 グプタ | 30 クメール |
| 31 ゴラン | 32 崑崙 | 33 サータヴァーハナ | 34 三角 |
| 35 シャイレンドラ | 36 獣骨 | 37 シュードラ | 38 朱全忠 |
| 39 シュリーヴィジャヤ | 40 シロッコ | 41 秦嶺 | 42 セルジューク |
| 43 ソグド | 44 隊商 | 45 大豆 | 46 タスマニアデビル |
| 47 ティグリス | 48 デカン | 49 鉄骨 | 50 天山 |
| 51 トウモロコシ | 52 トナカイ | 53 ドラヴィダ | 54 ニジェール |
| 55 粘土板 | 56 パーラ | 57 パミール | 58 バラモン |
| 59 ハリケーン | 60 パルティア | 61 ファーティマ | 62 フェニキア |
| 63 ポリス | 64 マウリヤ | 65 マガダ | 66 メコン |
| 67 モンゴル | 68 モンスーン | 69 ヤギ | 70 ヤク |
| 71 ユダヤ | 72 リヤマ | 73 レヴァント | 74 煉瓦 |

問2 文中の空欄（あ）にあてはまる語は何か。解答用紙Bの所定の欄に漢字1字で記入しなさい。

問3 下線部（a）に関連して、カレーに使われる香辛料には、南北アメリカに由来するものもある。その代表的なものは何か。解答用紙Bの所定の欄にカタカナ5字で記入しなさい。

問4 下線部（b）に関連して、同王が仏教に帰依したのは、どのようなことを後悔したためか。解答用紙Bの所定の欄に15字以内で記述しなさい。

問5 下線部（c）に関連して、唐代に普及した西方由来の「胡食」は、主として何を食材としているか。解答用紙Bの所定の欄に、漢字3字で記入しなさい。

問6 下線部（d）に関連して、このマムルークは主にどのような人を意味する用語か。解答用紙Bの所定の欄に、漢字4字で記入しなさい。

問7 下線部（e）に関連して、この時代に東南アジアの基層文化がインドから受けた影響には、仏教とヒンドゥー教以外に何があるか。解答用紙Bの所定の欄に、ひとつ記入しなさい。

Ⅱ. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

世界史は技術革新の連続である。古代においては特に農業の革新が著しかった。前6000年頃までに、中国の黄河流域では食用の (45) (46) を中心とした農耕がはじまり、長江流域で稲が栽培されるようになった。前5千年紀になると、黄河中流域において彩文土器で知られる (47) (48) 文化が開花し、長江流域では人工的な施設をもつ水田が現れた。農業生産性の向上は、道具の改善と密接に関連している。春秋時代に出現した鉄器の普及後、鉄製農具が使われて飛躍的に生産性が上がったことで、より人数の少ない (49) (50) 単位での農業経営が可能となった。

農業の発展に伴い社会に変動が生じ、多様な思想が一斉に開花した。思想家の (51) (52) を代表とする農家は、農民の統治方法などを論じ、万民平等に農耕すべきと提唱した。 (53) (54) を代表とする名家は、名と実の関係を論理的に説明した。戦国時代には、各地の社会や文化の特色を映し出した独自の国づくりが展開されていた。塩業で繁栄した黄河 (55) (56) 流域の齊、長江流域の文化圏に根ざした (57) (58) , 遊牧民族の戦術を取り入れた趙、採集を主な生業とした東北の文化圏を代表する (59) (60) など、「戦国の七雄」と呼ばれる有力な国々が各地を支配していた。

技術革新を促す要因のひとつは各王朝で行われたインフラの整備である。(a)秦の始皇帝は度量衡、貨幣、文字と (61) (62) を全国的に統一し、都の咸陽から四方にのびる幹線道路を建設させた。これにより、経済活動の効率が向上し、行政管理がしやすくなった。6世紀末頃、 (63) (64) の軍人出身である隋の文帝が南北に分裂していた中国を統一した後、息子の(b)煬帝は大運河の建設を引き継ぎ、華北と江南を結ぶ水路を整備した。運河は農産品と手工業製品を運ぶ手段として大きな役割を果たした。水運が発達した (65) (66) 代には、低湿地の干拓やひでりに強い占城稻の導入によって稲の生産量が増大し、長江下流域は穀倉地帯となった。陶磁器の製造技術の進歩に伴い、 (67) (68) 省北部の景德鎮などの製品は輸出品として人気を博すようになった。大運河の修繕事業はその後の時代も継続され、明の第3代皇帝の永楽帝が大運河の修築を行ったことなども知られている。

技術革新の成果は他国にも多大な影響をもたらした。(c)後漢の宦官 (69) (70) は樹皮・麻布・魚網などを使用する製紙法を改良した。この製紙法は (71) (72) 年のタラス河畔の戦いを機に西伝したとされる。同じ唐代には本格的な (73) (74) による印刷が始まったが、その限界を克服する新たな印刷技術がのちに朝鮮半島において発明された。日本では16世紀末に、 (75) (76) が朝鮮出兵を指示し、その戦利品として印刷器具などが日本に持ち帰られたと伝えられている。また、明の官僚や儒学者が(d)宣教師のもたらしたヨーロッパの科学技術を積極的に取り入れ、中国独自の文化や伝統と融合させながら、自国の技術力を向上させた。

さらに、近代の始まりとされている第一次産業革命は高度な技術革新の扉を開いた。産業革命は、イギリスのマンチェスターを中心とする (77) (78) 地方の綿工業から始まった。綿工業の技術革新は、ジョン＝ケイが発明した飛び杼の応用によって大きく進展した。1785年に (79) (80) が(e)蒸気機関を動力源とした力織機を発明して、綿布の生産は飛躍的に増大した。また、産業革命の初期には綿織物や陶器などの軽工業が発展したが、やがて鉄鋼業をはじめとする重工業が発達し、交通手段の革新が進むにつれて、産業革命が社会に与えた影響はさらに拡大した。1807年にアメリカ人 (81) (82) が実用化した蒸気船は、19世紀半ばから改良され、しだいに帆船にとってかわった。その後の鉄道や蒸気船の発達は世界各地を緊密に結びつけ、世界の一体化を加速的に推し進めることとなった。

問1 文中の空欄 (45) (46) ～ (81) (82) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (45) ～ (82) にマークしなさい。

- | | | | |
|-----------|---------|---------|-----------|
| 11 663 | 12 721 | 13 751 | 14 アークライト |
| 15 衛 | 16 燕 | 17 下 | 18 カートライト |
| 19 家族 | 20 カボチャ | 21 魏 | 22 仰韶 |
| 23 許行 | 24 金属活字 | 25 元 | 26 ケント |
| 27 紅山 | 28 広西 | 29 江西 | 30 公孫康 |
| 31 公孫竜 | 32 湖南 | 33 根茎類 | 34 蔡倫 |
| 35 雑穀 | 36 氏族 | 37 島津義久 | 38 車軌 |
| 39 集落 | 40 上 | 41 鄒衍 | 42 石版 |
| 43 楚 | 44 宋 | 45 曹京 | 46 曹景宗 |
| 47 蘇秦 | 48 ダービー | 49 中 | 50 豊臣秀吉 |
| 51 南涼 | 52 フルトン | 53 方言 | 54 北魏 |
| 55 北周 | 56 松浦隆信 | 57 木版 | 58 ヨークシャー |
| 59 ランカシャー | 60 龍山 | 61 魯 | 62 ワット |

問2 下線部（a）に関連して、始皇帝に焚書・坑儒を進言し、2世皇帝在位中に政敵の趙高との対立から処刑された人物は誰か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部（b）に関連して、煬帝の末期に隋が滅亡するきっかけとなったのはどこへの遠征の敗北か。その国名を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部（c）に関連して、後漢の直前の王朝は何か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部（d）に関連して、中国でキリスト教の普及が全面禁止され、ほぼすべての宣教師が国外に追放されたのは、（あ）西暦何年か、（い）この時の皇帝は誰か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 下線部（e）に関連して、蒸気機関の普及がもたらした主なメリットとデメリットは何か。自然環境に与える影響から考えて、解答用紙Bの所定の欄に35字以内で記述しなさい。

Ⅲ. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

「メディア」の原義は、ヒトやモノの「あいだ」をつなぎ媒介することである。人類はこれまで、石、金属、紙、電気技術などの媒体を活用し、雑誌、新聞やインターネットにいたる多くのメディアを発展させてきた。こうしたメディアが形成する情報のネットワークは、どのように世界を動かしてきたのだろうか。

16世紀初頭のヨーロッパを例に考えてみよう。ドイツ中部の都市 (83) (84) の大学教授だった修道士ルターは、教皇が発行した贖宥状を批判して「九十五カ条の論題」を発表し、宗教改革の端緒を開いた。ルターらによる^(a)プロテスタントの思想を民衆に広げる力となったのは、(85) (86) が改良した活版印刷術である。イギリスでは (87) (88) がすでに聖書を英訳していたが、ルターは新約聖書をドイツ語訳し、新たなメディアの後押しを受けた。その反響はヨーロッパに広がり、ツヴィングリはスイスの (89) (90) で改革を進めたが、神聖ローマ皇帝の (91) (92) はルターに対して説の撤回を求めた。また人文主義者^(b)エラスムスは、各派の和解を説いた。

メディアがつなぐ思想的共鳴は、時代や地域も超える。『(93) (94)』などを著した古代ギリシャのアリストテレスの思想は、ビザンツ帝国や^(c)イスラーム圏へ伝わり、(95) (96) がその思想に詳細な注釈を付した。その成果はシチリア島の都市 (97) (98) などでラテン語に翻訳され、中世西ヨーロッパの学問の隆盛につながった。ヨーロッパ各地の修道院に眠る文献を解読し、ホメロスによる (99) (100) 『イリアス』などを再評価したのも、中世の人文主義者たちであった。

近代以降に発達した新聞や雑誌は、さらに大規模な民衆の反応を引き出すようになる。こうしたマスメディアの発展を育んだ大都市としては、第二帝政期にセーヌ県知事 (101) (102) による改造計画で拡張したパリなどがあった。民衆が形成する世論の力は大きく、イギリスでの第4回選挙法改正後の選挙では (あ) 党が第2党となり、(い) 党との連立政権が誕生した。また^(d)各地の民族運動でも新聞・雑誌は大きな役割を果たした。中国では、辛亥革命後に雑誌『新青年』を創刊した陳独秀が近代化を提唱し、「(103) (104)」をスローガンに掲げた。トルコでは、(105) (106) による専制への反発から生じた青年トルコ革命以降、言論や結社の活動でトルコ民族主義が醸成された。

20世紀に入ると、新たな複製技術なども発達し、情報のネットワーク化はさらに加速していく。とりわけ第一次世界大戦後のアメリカ合衆国では、大統領 (107) (108) に始まる3代の共和党政権下で、大量生産・大量消費を特徴とする大衆社会が発展した。西海岸のハリウッドで産業として飛躍を遂げた映画がアメリカ的生活様式を世界に伝え、南部のアフリカ系住民の音楽をルーツとする (109) (110) が各国で人気を博した。他方、イタリアでは大衆の不満からムッソリーニ率いるファシスト党が台頭し、第一次世界大戦前に (111) (112) 領だったフィウメを1924年に併合するなど、拡張政策を進めた。1920年代にはラジオの定時放送も始まり、世界恐慌後に当選したアメリカのフランクリン＝ローズヴェルト大統領は、ラジオ放送を積極的に活用し、(113) (114) [略称：AAA] などで経済の立て直しを目指した。同じ頃、ドイツでは^(e)ナチ党を率いるヒトラーが1933年に政権を掌握し、ラジオ放送などの大衆娯楽や福祉事業を拡充することで国民の支持を得た。しかし、第二次世界大戦中には、ユダヤ人や障害者、同性愛者、少数民族の (115) (116) らを組織的に迫害する差別的政策を過激化させた。

第二次世界大戦後から現在にかけては、軍事技術として開発された (117) (118) が1946年にアメリカで稼働を開始するなど、メディアはより広く、速く、大規模に世界をつなぐようになった。そのいっぽう、

大量生産・大量消費にもとづく成長の限界も意識されるようになり、1972年にストックホルムで開催された
 (119) (120) などで、現在の「持続可能な開発目標」につながる警鐘が發せられてきた。

問1 文中の空欄 (83) (84) ～ (119) (120) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (83) ～ (120) にマークしなさい。

- | | | | |
|------------------|---------------|-------------------|-------------|
| 11 アウクスブルク | 12 アブデュルハミト2世 | 13 アブデュルメジト1世 | 14 医学典範 |
| 15 イブン＝マージド | 16 イブン＝ルシュド | 17 ウィクリフ | 18 ヴィッテンベルク |
| 19 ウィリアム＝オブ＝オッカム | | 20 オーストリア＝ハンガリー帝国 | |
| 21 オスマン | 22 カール5世 | 23 カール4世 | 24 饗宴 |
| 25 グーテンベルク | 26 クーリッジ | 27 クルド | 28 クロアチア |
| 29 国連環境開発会議 | 30 国連人間環境会議 | 31 コペルニクス | 32 コント |
| 33 コンピュータ | 34 ジェノヴァ | 35 ジャズ | 36 ジュネーヴ |
| 37 叙事詩 | 38 叙情詩 | 39 ジョン＝ボール | 40 人工衛星 |
| 41 政治学 | 42 全欧安全保障協力会議 | 43 全権委任法 | 44 全国産業復興法 |
| 45 ソクラテスの弁明 | 46 秩序と進歩 | 47 チューリヒ | 48 テレビ |
| 49 トレド | 50 ニュルンベルク | 51 農業調整法 | 52 バーゼル |
| 53 ハーディング | 54 パレルモ | 55 悲劇 | 56 フィルドウーシー |
| 57 フーヴァー | 58 フェリペ2世 | 59 フツ | 60 ミドハト＝パシャ |
| 61 民主と科学 | 62 民生の安定 | 63 ユーゴスラヴィア | 64 ヨーゼフ2世 |
| 65 レオナルド＝ダ＝ヴィンチ | | 66 ロック | 67 ロマ |

問2 下線部（a）に関連して、活版印刷や聖書の翻訳が、プロテスタントの普及において重要だったのはなぜか。「万人司祭主義」の内容に触れた上で、解答用紙Bの所定の欄に40字以内で記述しなさい。

問3 下線部（b）に関連して、この人物の代表作で、墮落した聖俗の権威を風刺した書物は何か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部（c）に関連して、アッパース朝下のバグダードで、ギリシャ語文献のアラビア語への翻訳を進展させた機関は何か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部（d）に関連して、インドの民族運動において、みずから発行する新聞などを活用して植民地支配を批判し、ベンガル分割令に反対して国民会議の急進化を進めたのは誰か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 下線部（e）に関連して、ナチ党の迫害を受けて、多くの民主主義者やユダヤ系の思想家、科学者、映画人などが亡命した。そのなかで、『魔の山』を著したノーベル文学賞作家は誰か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問7 文中の空欄（あ）と（い）にあてはまる政党名は何か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。